

令和7年度

各いのち・愛・ゆめセンターにおける主な独自事業

館名	豊川いのち・愛・ゆめセンター	沢良宜いのち・愛・ゆめセンター	総持寺いのち・愛・ゆめセンター
事業名	とよかわシニアディスコ！	①涼みどころ ②多文化さわらぎ おしゃべりカフェ	①小中学校との連携 ②歴史資料室
内容等	<p>内容：高齢者をメインターゲットに置いたダンスイベント。「とよかわのおばあちゃん、おじいちゃんも来て楽しんでもらい、新鮮な刺激を得られるイベントにする。」を目的に、地域の福祉の協議体と文化部門（ダンス指導者・DJ・バーテン）がコラボをして実施。健康に気遣い元気でいてくれる高齢者へのご褒美、誰にでも安心して楽しんでもらう場所の提供、また、デイサービス等の日常とは違う刺激を得る機会となった。</p> <p>実績 参加者 20人 スタッフ23人</p>      	<p>内容①：毎年、シェルターとして施設の一部を提供。猛暑（酷暑）で、夏の子どもの居場所も少なく、身体を動かして遊ぶ機会も減っていたことなどから、貸館（大会議室）で毎週予約が入らない時間帯を、夏休みに入ってから9月いっぱいまで、週1回、無料開放。午前は親子連れに、午後は小学生に開放し、交流や活動の場を設けた。</p> <p>実績 参加者 58人 スタッフ28人</p>    <p>内容②：外国にルーツのある人とその家族が、地域で安心して暮らしていけるよう、何でも話せる交流の場としてお茶をしながら、リラックスして話せるような機会（場）を提供。日本語教室や多文化交流のイベントがある日、また曜日や時間を変えて、より多くの人に来てもらえるよう工夫して実施（毎月1回）</p> <p>■実績：4月16人、5月13人、6月7人、7月28人、8月10人、9月14人、10月11人、11月6人、12月6人、1月6人、2月6人 合計 123人（2月末現在）</p>  <p>外国人総合相談窓口の職員や学校との連携によって、参加者が増加して来ている。また、当事者からは、毎月の会を楽しみにしているとの声もある。</p>	<p>内容①：センター職員が地域の小学校へ出向き、センターの事業やユースプラザ、地域のさまざまな取組の説明を行う等、継続的な交流を図った。その結果、6年生が自分たちで企画し運営する校内のイベント「みしまつり」の実施や、4年生がセンターのイベント「みしまちの玉手箱」で、ちらしやポスター、キャラクターの作成などの準備や当日の司会、店番、参加者の案内など運営のお手伝いをする事につながった。</p> <p>また中学校の人権サークルとの連携により、地域のイベントに合同でブースを出したほか、みしまちの玉手箱でも出店いただくなど協力をいただいた。いずれも地域住民と子どもたちとの交流やつながりづくり、さらにはまちづくりへの一助とすることができた。（2/28・3/1みしまちの玉手箱、参加者：約1,000人）</p>   <p>内容②：地域の歴史を振り返り、先人たちの想いを馳せるとともに、今後の地域の取組や在り方を考える機会とするため、歴史資料室を設置し、地域の方々とともに資料の収集、整理をする活動を実施している。また地域の方々の自主的な勉強会の支援のほか、センター主催の歴史探索ウォーク等を開催している。（7/30歴史探索ウォーク、参加者18人）</p>  